

## 中里皆瀬地区 みんなで目指そう明るいまち中里皆瀬

～未来の子どもたちのために～

### 1.中里皆瀬地区の特徴

中里皆瀬地区は、将冠岳の北西側の裾野と、相浦川の両岸およびその支流の小川内川の両岸の山間部に広がっています。昭和17年の合併により佐世保市の一部となるまでは、北松浦郡に属していました。地区の中心部を流れ、杣木地区の郷美谷池に源を発する相浦川は、郷土誌によれば、かつては鮎が飛び跳ね、鰻をはじめ多くの川魚が生息していたそうです。しかし、同地区は産炭地であったため、戦後の産炭振興による洗炭の影響で河川の汚濁が長く続きましたが、現在では、サギ、オシドリなどが飛来するまでになりました。

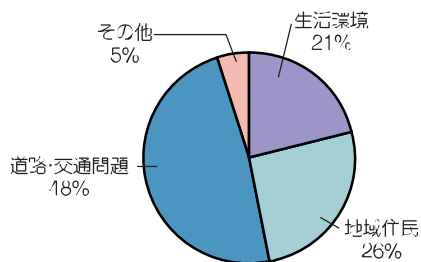
交通の面では、道路の整備が飛躍的に進み、妙観寺トンネルの開通によって県北方面へのアクセスが容易になりました。さらに平成21年度には、西九州自動車道のインターチェンジが完成することになっており、ますます広がりのある環境になることが予想されます。

#### 【中里皆瀬地区の状況】

- ①人口 11,411人
- ②世帯数 4,269世帯
- ③高齢化率 24.4%
- ④自治会(町内会等)数 27

### 2.お茶の間トーク(住民座談会)で出された課題

#### 【分野別割合】



### 3.具体的な取り組み

(一部のみ掲載)

#### ごみのない美しいまちづくり

- 犬の散歩時はふんの始末をするようお互いに注意しあいましょう。
- 空き缶など見つけたら拾うよう心がけましょう。
- 一人ひとりがごみをきちんと分別するよう心がけましょう。

#### 声かけあって安心・安全のまちづくり

- 地域の高齢者をみんなで見守るようにしましょう。
- あいさつなど努めて声をかけるようにし、行事への参加を呼びかけましょう。

#### みんなでルールを守って事故のないまちづくり

- PTAや町内会などみんなで通学路などを積極的にチェックしてみましょう。
- 夜道では懐中電灯をもって行動しましょう。
- 通学道路、横断歩道での誘導・監視をしましょう。

## 大野地区

# ひとよし まちよし 明るい大野

### 1.大野地区の特徴

大野地区は、佐世保市の北部に位置し、相浦川の中流沿いに広がる、南北を山に囲まれ美しい景観に恵まれた自然豊かな地域です。

先史時代から人が暮らしていた跡が今も残り、泉福寺洞穴・岩下洞穴は今から1万年以上前の人々の居住跡で、多くの遺物が出上っています。

戦後は、ベッドタウンとなり多くの住宅が建ちました。教育施設も充実し、小学校から高校まで歩いて通学できる学園地区となっています。

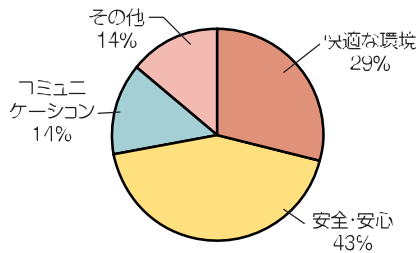
近年は、東部の矢峰・松原地区の発展が目ざましく、大きな団地や高層アパートが林立したほか、大型の商業施設も立ち並び、多くの買い物客で賑わっています。

#### 【大野地区の状況】

- ①人口 19,097人
- ②世帯数 7,632世帯
- ③高齢化率 25.3%
- ④自治会(町内会等)数 27

### 2.お茶の間トーク(住民座談会)で出された課題

#### 【分野別割合】



### 3.具体的な取り組み

(一部のみ掲載)

#### わたしとあなたの思いやりがつくる快適な環境

- 犬を飼っている人は必ずマナーを守りましょう。
- 一人ひとりがゴミ捨てをせず、持ち帰るなどマナー向上を心がけましょう。
- 川をきれいにするために洗剤などの流し方に気をつけましょう。

#### わたしとあなたの気配りで安全・安心なまちづくり

- 近くに出かけるときは、できるだけ歩いたりバスなどの公共交通機関を利用しましょう。
- ドライバーはお互いに譲り合う気持ちを持ち、安全運転を心がけましょう。
- 地域でのパトロールを考えてみましょう。

#### 私たちのまちに関心を持ち多くのコミュニケーションを持とう

- 地域の行事に積極的に参加しましょう。
- 町民が関心を持ち、役員に協力しましょう。
- 一人ひとりが進んで声かけやあいさつをしましょう。

## 柚木地区

# よかまち よかところ よかゆのき

～ゆう大で、美しい自然を子や孫にのこしていつまでもきれいな柚木でありたい～

### 1. 柚木地区の特徴

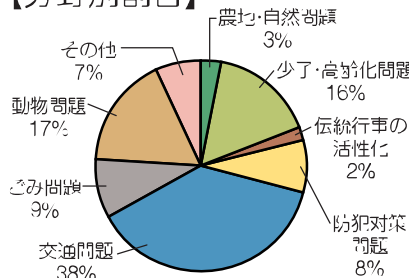
柚木地区は佐世保市の北東部に位置し、東は国見山・八天岳を境として佐賀県と隣接しており、相当・川谷・転石の3つの水源地は佐世保市の水資源をまかなっています。清流を活かした良質米の産地で、野菜・花木・肉用牛等の生産も盛んです。特に地域の特性を活かしたトマト・メロン・カーネーションの温室栽培は有名です。また、国道498号線から少し入り込んだ所には、戦国時代からの歴史がある藤山神社があり、その境内には県の天然記念物に指定してある周囲1.5m、立上り1.2m、長さ30mの大ヤマフジの巨木が立っています。豊かな自然と歴史・文化に恵まれ、この地区の人々は人情豊かでいきいきと生活しています。

#### 【柚木地区の状況】

- ①人口 4,663人
- ②世帯数 1,559世帯
- ③高齢化率 25.8%
- ④自治会(町内会等)数 26

### 2. お茶の間トーク(住民座談会)で出された課題

#### 【分野別割合】



### 3. 具体的な取り組み

(一部のみ掲載)

#### 地域の資源を有効活用しよう! 自然を子どもの遊び場にしよう!

○公園に限定せず、豊かな自然(山や川)の中で自由に遊ばせよう。

#### 柚木に若者を増やそう! 高齢者にやさしいまちにしよう!

- 若者が集う場を設定し、その中で農業体験を通して生産の喜びを知ってもらいましょう。
- 地域の公民館や空き家を使って高齢者の集まる場所(いきいきサロン)を開設しましょう。

#### 行事・伝統を生かそう!

○類似した行事は統合し、アイデアを出し合いながら魅力あるものにしましょう。

#### 子どもの安全を守ろう! 防犯の意識啓発を図ろう!

- 地域住民とPTAが協力して登下校時の見守りをしましょう。
- 人通りが少なく暗い道はなるべく一人で歩かないようにしましょう。

#### 交通マナーを守り、安心安全なまちにしよう!

○運転者の自覚を促し、騒音を防止するためにパトロールをしましょう。

#### みんながルールを守りきれいな町にしよう!

○不法投棄を無くすため定期的な見回りをしましょう。

#### 生ごみの処理を徹底させ動物被害をなくそう!

○定期的に地域で掃除をし、イノシシや野生動物のえさをなくしましょう。

## 相浦地区

# 安全安心、老いも若きもみんなで支えるまちづくり

～よかところ・わがまち相浦地区～

### 1. 相浦地区の特徴

相浦地区は、佐世保市の西部に位置し、平安時代の半ば頃に武辺胤明が開拓したと伝えられています。戦国時代から幕末にかけて開拓が進み、川下新田や真中新田、大淵新田などができました。

近代においては、相浦港が石炭積出港などとして大いに発展し、戦前戦後には、相浦発電所の建設、棚方の日産炭鉱の開鉱などにより、相浦商店街も大いに賑わいました。

炭鉱閉山後は、長崎県立大学などの学校や総合グラウンドが建設されたほか、佐世保中心街のベッドタウンとして住宅建設が進んでいます。

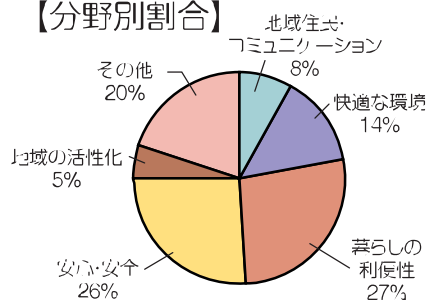
現在では、佐世保市の文教地区となっており、また恵まれた自然を活かしたまちづくりが進められています。

#### 【相浦地区の状況】

- ①人口 28,381人
- ②世帯数 11,765世帯
- ③高齢化率17.5%
- ④自治会(町内会等)数 44

### 2. お茶の間トーク(住民座談会)で出された課題

#### 【分野別割合】



### 3. 具体的な取り組み

(一部のみ掲載)

#### 老いも若きも心は一つみんなで声かけ、楽しいまちに!!

- 町内でネットワークをつくって声かけや日配りを行いましょ。
- スポーツなど住民が交流・親睦できる機会を設けましょ。

#### ごみのない美しく、明るいまちに!!

- 各自がルール・マナーを守りましょ。
- ごみなどを捨てている人を見かけたら注意しましょ。

#### 子どもから高齢者まで交流を深めるまちづくり

- 公共交通機関を積極的に利用しましょ。
- できるだけ近所の店を利用しましょ。

#### 安全かつ安心して暮らせるよう支え合うまちづくり

- 交通ルールを守るように徹底しましょ。
- 不審者を見たら周りの人に知らせましょ。

#### 老若男女が集まるまちづくり

- 人が集まるイベントを地域と一体となって考えましょ。
- 各イベントを公民館まつり、地域おこしと連携させましょ。



## 黒島地区

# みんなで育てよう助け合う心

～ひとりはおみんなのために みんなはひとりのために～

### 1.黒島地区の特徴

黒島地区は、相浦港から西方約1.3kmの海上に位置し、周囲約1.3km、南北3.4km、東西6km、面積約5.4km<sup>2</sup>の規模を有し、208の島々からなる九十九島の中で最も大きな島です。

カトリック信仰の島として知られ、島の人口の約70%が信徒です。交通は、1日に3便の船が相浦と黒島間を約50分ですたないでおり、不定期貨物船も運航しています。

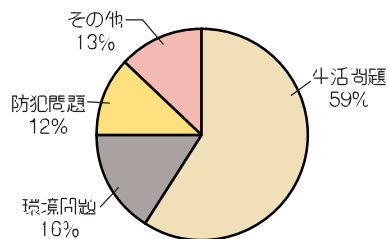
現在も豊かな自然が残っており、黒島神社では縄文時代の森の様子を、串ノ浜岩脈では地殻変動の跡を見ることができます。気候も暖かく、亜熱帯地域の植物であるアコウの巨木が見られ、また、根谷にあるサザンカの巨木は、佐世保市の天然記念物に指定されています。他にも国の重要文化財である黒島天主堂など多くの名所旧跡があり、観光客の来島も年々増加しています。

#### 【黒島地区の状況】

- ①人口 554人
- ②世帯数 301世帯
- ③高齢化率 54.5%
- ④自治会(町内会等)数 8

### 2.お茶の間トーク(住民座談会)で出された課題

#### 【分野別割合】



### 3.具体的な取り組み

(一部のみ掲載)

#### 思いやりの心育つわがまち

- お互いに声をかけ合ったり、家を訪問しましょう。
- 各地区の集会などを密にして協力を呼びかけましょう。
- いきいきサロンを充実させて継続しましょう。

#### ルールを守ろうきれいな心

- 生ごみはきちんと処理しましょう。
- 自分のごみは持ち帰るかきちんとごみ箱に捨てましょう。
- ごみに気づいたら拾い(すくい)ましょう。

#### 安全・安心をみんなの心で

- 道路は気をつけて歩き、周りをよく見てわたりましょう。
- 車でカーブを通る時は、人がいないかよく確かめましょう。
- 毎年少しずつでも街灯を増やしていきましょう。

## 吉井地区

# みんなで支えて みんなが笑顔

～思いやり・心ゆたかな吉井町～

### 1. 吉井地区の特徴

吉井地区は、佐世保市の北部に位置し、北は松浦市、西は江迎町と佐々町、東は世知原地区と隣接しており、国見岳を源にする県内最長河川の佐々川は、吉井地区を流れて佐々町の海に注いでいます。

交通の面では、松浦鉄道が西部を走り、それに沿って通る国道には、中央部の2ヶ所に松浦市と世知原地区へ通じる県道との分岐点があります。旧市内とは数本の国・県・市道で結ばれ、妙観寺トンネルの開通以来、車の往来が頻繁になっています。

土地は肥沃で、農業に適しており、いちご・メロン・いちごワインの産地としても有名です。

2万年前の旧石器時代にできたと言われる福井洞窟をはじめ、直谷城跡、コウモリ岩洞穴、春日神社の古式お蔵入れなどの遺跡もあります。また、名勝地・御橋観音には、自然にできた石橋や天然記念物も混じった多種類のシダも群生しています。

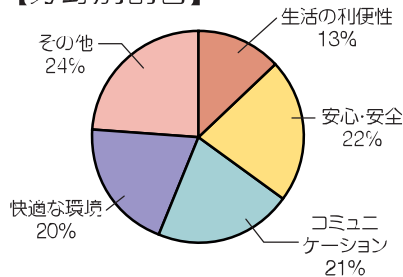
佐世保市との合併前は、花はひまわり、鳥はウグイス、木はしいの木が町のシンボルでした。

#### 【吉井地区の状況】

- ①人口 5,879人
- ②世帯数 2,121世帯
- ③高齢化率 24.4%
- ④自治会(町内会等)数 26

### 2. お茶の間トーク(住民座談会)で出された課題

#### 【分野別割合】



### 3. 具体的な取り組み

(一部のみ掲載)

#### 思いやりと親切の輪を広げよう

- 隣近所で助け合いましょう。
- 遊び場の活用を考えましょう。

#### みんなの力でどこでも安心

- 夜間の歩行時には夜光性のものを身につけましょう。
- 運転者・歩行者ともにルールを守りましょう。
- 電話をしたらすぐに駆けつけてくれる人を近所につくりましょう。

#### 声かけてみんなであつくり近所の和

- 地域の人ができる範囲で助け合いましょう。
- 子どもが主体となる子ども会活動にしていきましょう。

#### 未来へつなごう山や川 歴史ゆたかなまちづくり

- 一人ひとりがマナーの向上を図りましょう。
- 生活排水の流し方を工夫しましょう。(考えましょう)

## 世知原地区

## すきです せちばる

～未来に残そう美しい自然と人の交わり～

### 1.世知原地区の特徴

世知原地区は、佐世保市の北部に位置し、標高777mの国見山を東に望み、県内最長である佐々川の源流地帯にあり、緑豊かで自然にあふれた地域です。平成17年に佐世保市と合併しました。

明治20年代から昭和45年までは石炭産業が盛んで、石炭の輸送のために開通し佐々まで運行していた汽車は、佐世保の街の人たちも山を越えて見物に来ていたと言われていました。

産業は、農業(茶業・畜産等)が主体で、世知原米は味が良いと定評があり、また、世知原茶の名声も高く、毎年農水大臣賞に入賞するお茶もあります。

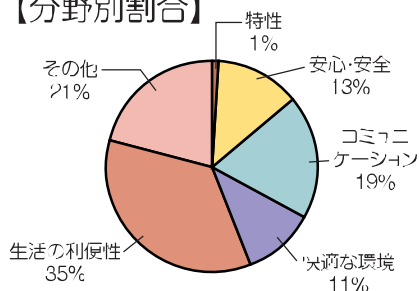
また、毎年開催される「世知原ロードレース」や「じげもん市」などの大イベントには、多くの参加者や来客で賑わいます。

#### 【世知原地区の状況】

- ①人口 3,939人
- ②世帯数 1,418世帯
- ③高齢化率 32.4%
- ④自治会(町内会等)数 24

### 2.お茶の間トーク(住民座談会)で出された課題

#### 【分野別割合】



### 3.具体的な取り組み

(一部のみ掲載)

#### 世知原茶を飲んで元気になろう

- 急須でお茶を入れましょう。
- 子どもなどに生産の体験をさせましょう。

#### 誰もが、安心して暮らせる町づくりを目指そう

- 地域が一体となって、登下校時の見守りを強化しましょう。
- 歩行者も運転者も交通ルールを守りましょう。

#### 自分から進んで元気に笑顔であいさつをしよう

- 隣近所やボランティアによる見守り・声かけ・安否確認をしましょう。
- 地域ごとにお互いに支え合うことを一人ひとりが自覚しましょう。

#### すばらしい自然をみんなで守っていこう

- ごみを捨てないように徹底しましょう。
- のら犬、猫にエサをあげないように呼びかけましょう。

#### みんなの力で住みよい世知原をつくろう

- 運転者は他に迷惑をかけるような路上駐車はしないように心がけましょう。
- できるだけ町内で買い物をするようにしましょう。

## 小佐々地区

# みんながかがやくまち小佐々

～海よし・山よし・人もよし～

### 1.小佐々地区の特徴

小佐々地区は、日本本上最西端に位置する「海光るまち」として知られ、東は佐々町、北は鹿町町と隣接し、南及び西は平戸海峡に面しており、農業・漁業などの振興を核に、景勝地「冷水岳」や「日本本上最西端の地」などの観光資源を活かしたまちづくりが進められてきました。

昭和55年に「小佐々町公民館」、昭和59年に「小佐々町高齢者コミュニティセンター」が生涯学習や福祉活動の拠点として開設されたことにより、福祉団体の組織化や活動強化が図られ、食事サービスボランティアなどの様々な福祉・ボランティア活動が展開されてきました。

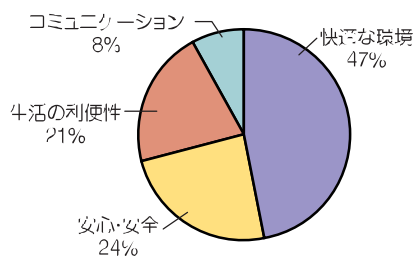
佐世保市となった現在でも、市内のボランティア団体やNPOとの結びつきを強め、住みよい地域づくりのために地域住民や団体が連携して活動しています。

#### 【小佐々地区の状況】

- ①人口 6,835人
- ②世帯数 2,406世帯
- ③高齢化率 24.2%
- ④自治会(町内会等)数 16

### 2.お茶の間トーク(住民座談会)で出された課題

#### 【分野別割合】



### 3.具体的な取り組み

(一部のみ掲載)

#### 地域で作ろう、安全安心な小佐々

- 夜は懐中電灯を持って歩きましょう。
- 不審者などの情報は早めに流しましょう。
- 事故が多い場所では一人ひとりが注意しましょう。

#### 活力と思いやりのある小佐々

- 若者や高齢者がふれあう機会を増やしましょう。
- 近所の人気がけて見守り、声をかけましょう。
- 大人が率先してあいさつしましょう。

#### 地域で支え合うみんなのまち小佐々

- 隣近所で買い物を手伝ってあげましょう。
- 公民館などを積極的に活用しましょう。

#### 住みよいまち・人と人が支え合うわがまち小佐々

- 危ない場所へは一人で行かないようにしましょう。
- 個人のマナー向上を図りましょう。



## 宇久地区

# みんなが主役のまちづくり

～ 自然美と人情味あふれた 宇久宝島 ～

### 1. 宇久地区の特徴

宇久地区は、佐世保港から高速船で1時間20分、フェリーで2時間30分かかる西方海上60kmに位置し、東西8km、南北7kmのほぼ円形で、周囲は47.4km、面積は26.4km<sup>2</sup>の島です。海上から眺めるとすそ野が広く、五島富士と称される標高258mの城ヶ岳を中心とする美しい島の姿は、ヨットに乗る人々の間でも絶賛されています。

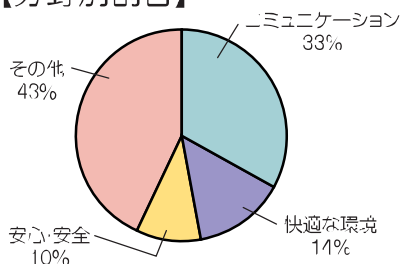
東海岸に広がる島で最大の砂浜海岸「大浜」は、白い砂浜と蒼い海が広がる「日本の快水浴場百選」に選ばれた一級の海水浴場です。西海岸には、雄大な草原や地形をそのまま利用した天然のゴルフ場である「平原ゴルフ場」があります。城ヶ岳の山頂からは360度の大パノラマが広がり、南は小値賀諸島の全景から五島列島の最南端まで、東は平戸諸島、生月の山大島を見渡すことができます。

#### 【宇久地区の状況】

- ①人口 2,757人
- ②世帯数 1,507世帯
- ③高齢化率 45.8%
- ④自治会(町内会等)数 26

### 2. お茶の間トーク(住民座談会)で出された課題

#### 【分野別割合】



### 3. 具体的な取り組み

(一部のみ掲載)

#### ともに支え合う 心豊かな宇久宝島

- 今の子どもたちを大事にしましょう。
- 近所づきあいを大事にして、お互いに一日一回は声をかけ合いましょう。
- 学校や地域の行事にはできるだけ参加しましょう。

#### 豊かな美しい自然 みんなでつくろう宇久宝島

- 住民一人ひとりが美化意識を高め、ルールを守るよう呼びかけましょう。
- ペットを連れて行く時は必ず袋を持って行くなど、飼い主が責任を持ちましょう。
- 目についたごみを拾うようポスターなどで呼びかけましょう。

#### ともに支え合う 心豊かな宇久宝島

- 住民一人ひとりに交通ルールを守るよう呼びかけましょう。
- 地区と学校が一体となって子どもの安全を守りましょう。
- 子どもと大人で危険箇所の確認を定期的に行いましょう。

# 第5章

## 計画の推進と評価



「佐世保市地域福祉計画・佐世保市地域福祉活動計画」をどのようにして推進していくか、また、どのように評価し、見直しを行っていくかを記載します。

## 第1節 計画の推進

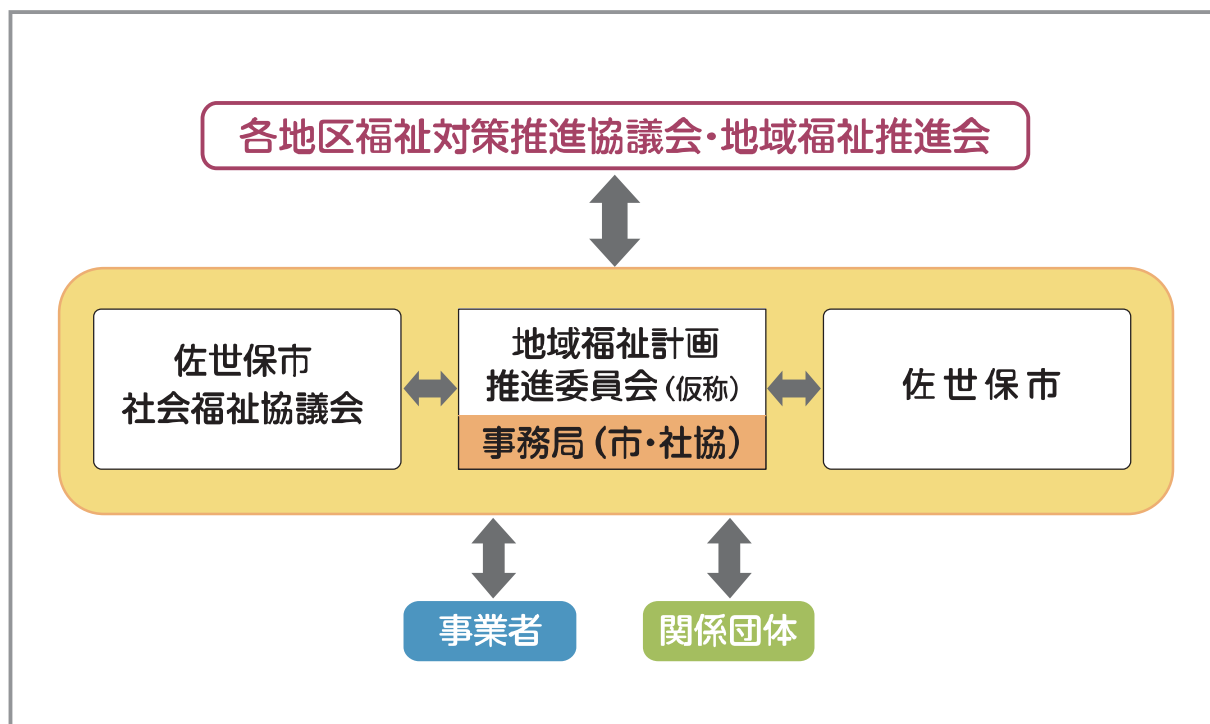
この計画は、市、社協ならびに関係団体、事業者のほか、各地区の福対協等を中心とする地域住民が協働で推進していくものです。

年度ごとに各施策の進捗状況を確認し、必要に応じて推進方法の見直しなどを行っていくために、新たに「地域福祉計画推進委員会(仮称)」を設置します。この委員会では、計画づくりの際と同様に、市と社協が共同の事務局を設置し、市や社協内の各部署や関係団体との調整を行いながら、各施策についての進捗状況を常に把握できるよう努めます。

また、この計画の中で取り組む施策は、福対協等が中心となって推進するものも多いため、社協が各地区の福対協等と連携を密に取りながら、地域の実情に即した推進を図ります。

併せて、広報紙やホームページなどの様々な手段を利用して、本計画の普及啓発を図ります。

(図表5-1) 本計画の推進体制のイメージ



## 第2節 計画の評価方法

この計画では、各施策の年度ごとの実施状況について、市民アンケートや住民座談会での意見聴取なども参考にしながら把握し、これに基づいた評価を行います。

この計画の中で取り組む施策には、住民同士のつながりや意識づくりなど、目標値を明確に表すことが難しいものもありますが、可能な限り実績を数値化し、客観的な評価ができるように努めます。

また、年度ごとの評価などを参考にしながら、地域福祉計画推進委員会(仮称)において、5年を目処に全体的な見直しを行います。

なお、福対協等を中心に行う地区ごとの地域福祉活動計画の評価・見直しを、この計画の評価・見直しにも反映させます。